

CT-FFR及び新冠動脈CTAの臨床評価研究

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は医療倫理委員会の承認を得て行うものです。既に存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

1. 研究目的・方法

冠動脈CTは非侵襲的に冠動脈疾患を診断できるツールとして広く普及してきています。また、冠動脈疾患の重症度評価や血行再建の適応に関しては、機能的狭窄である虚血評価の重要性が示されており、その指標の一つとして冠血流予備比(FFR)の有用性が報告されているところです。今回、冠動脈CTで得た画像を使用して、キャノンメディカルシステム株式会社のCT-FFR解析ソフトが虚血性心疾患の診断フローに対して、どのように活用できるか運用方法を検討します。

2. 研究の対象

虚血性心疾患が疑われた患者さんに320列CTを用いて冠動脈CTを行い、2mm以上の冠動脈枝に少なくとも1か所に30-90%の狭窄を認め、心臓カテーテル検査とカテーテルを用いたFFRによる虚血評価が必要と判断された方

3. 研究に用いる試料・情報の種類

冠動脈CTで得た画像

4. 研究体制

済生会熊本病院 循環器内科 研究責任者： 部長 坂本 知浩

本研究はキャノンメディカルシステム株式会社との共同研究として実施します。利益相反の状況は医療倫理委員会にて確認され、研究の透明性・信頼性を確保する体制であることをお伝えします。

5. 個人情報の取り扱い

本研究の成果は、キャノンメディカルシステム株式会社への報告、および学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、プライバシーは厳重に保護され、個人を特定するような情報は一切外部に出されることはありません。

試料・情報が当該研究に用いられることを希望されない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。協力を拒否された場合でも、診療上の不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

問い合わせ窓口：中央放射線部 副技師長 坂本 崇 電話番号：096-351-8000(代表)